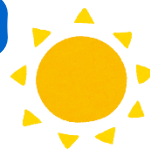




苫小牧市立苫小牧東小学校
学校だより

令和5年6月30日
6月号

太陽の子



東小の教育目標

東小の子は太陽の子

・進んで学ぶ

かがやく子

・思いやりのある

あたたかい子

・心身ともに健康な

明るい子

自己肯定感と自立心を育む親子の関わり

苫小牧市立苫小牧東小学校 校長 柴田 知巳

不安定な天候の続いた6月上旬でしたが、運動会は、1日延期はしたものの11日に全日程を無事行うことができました。ご家族の皆様の声援が、子供たちにとってよい後押しとなっていました。ありがとうございました。学校は、いわば一つのチームです。そのチームとしての取組の一面を見ることができたのが今回の運動会でした。先生方は、主役の子供たちを引き立て、黒子に徹するきびきびとした素晴らしい動きでした。子供たちの演技では、表現種目で各ブロック上学年の子供たちが、下学年の子供たちを指導するといった効果的で効率的な練習が行われていました。まさに、先生方同士、子供たち同士、先生方と子供たちのチームワークの賜物でした。保護者の方々のマナーについても概ね良好で、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

さて、最近の子どもはよく自己肯定感が育っていないということを耳にします。では、どうしたらそういった感情は育つのでしょうか。「自己肯定感」とは、単に自分に自信があるということではなく、自分は生きている価値がある、自分は大切な存在なのだと思えることであり、子どもの心の成長の土台になります。「自分は大切にされている」という気持ちがあるからこそ「相手のことを大切にしよう」という思いが生まれ、他者と上手に関わるためのルールや生活習慣を身につけたり、意欲的に学習したりすることができ、自立心を育むことにつながります。だからこそ、自己肯定感をしっかりと育ててほしいと思います。いくつになっても遅すぎることはありません。

子どもが成長していく過程では、挫折してしまうような体験をして、つらい状況に陥ることもあります。例えば、友人に嫌なことを言われて自己肯定感が下がってしまうこともあるでしょう。「どうせ自分なんて」などと思っているときに、いくら「友だちとなかよくしよう」と親が言っても、前向きな気持ちにはなれないものです。自己肯定感を育て直すことができれば、「自分のことを完全に否定されているのではない」などと受け止めることができ、前向きな気持ちで関係を結び直していけます。このように自己肯定感は生きていく上で、とても大切な土台にもなるのです。

自己肯定感を育てるために大事なことは、子どもの甘えを適切に受け止めること。「甘えは自立の妨げになる」と思われがちですが、そうではありません。「甘え」には「甘えさせる」と「甘やかす」の2種類があり、「甘えさせる」は子どもの「抱っこして」「話を聞いて」のような情緒的な要求に応えること、また子どもがどうしてもできないことを大人が手助けすること。自分が求めれば受け止めてもらえることが安心感につながり、自己肯定感が育つもとになります。「甘やかす」は、物質的な要求に対して子どものいわれた通りに与えること、自分でできることにまで大人が手を貸すこと。例えば、自分でできるのに着替えを手伝う、子どもの欲求のままにお菓子を与えてしまうなど。子どもの情緒的な要求にはしっかりと応え、物質的な要求はきちんと制限することが必要です。

甘えを適切に受け止めてもらえると、子どもの中に安心感が生まれます。すると、今度は自由を求めて自発的な意欲が生まれ、自分でやってみると不安になり甘えに戻り、また自由を求めて意欲が生まれる、これを繰り返しながら自立していくのです。

新体力テストと体力の向上

子供たちの運動能力や、それに関わる生活実態など調べる新体力テストを全学年で実施しました。全国学力・学習状況調査は、6年生で実施し、その結果を文部科学省に提出しますが、新体力テストは、5年生で実施し、同じく結果を提出します。なお、苫小牧では、全学年で実施していますが、1・2年生は、種目を少なく実施しています。全国平均の公表はまだですが、時期が来たら、全国平均と比較した結果をお知らせします。個人の記録は、体力手帳で後日お知らせします。

また、体力向上に関わり縄跳びに取り組んでいます。7月にはなわとびイベント「1分チャレンジ!!」も行います。今年は、中庭も活用して練習しています。

コロナ禍により、「子供の体力が低下した」とか、今流行している咳や鼻水といった症状も、「マスクにより抵抗力が低下した」という話を耳にします。家に帰っても身体を適度に動かしたり、規則正しい生活を送ったりすることが健康の維持や体力の向上につながります。



外部の方を招いた交通安全指導を行いました

交通安全指導員の方々に交通安全教室を実施していただきました。「子供たちは真剣に参加していました」という言葉をいただきましたが、特に低学年の児童の自転車の乗り方について、地域の方々から、注意の電話をいただきます。いつも下校時に児童を見守っていただいている尾関昌敏様から「信号のないところで飛び出す子供がいます」という話を伺いました。また、学校の前の横断歩道では、「安心するのか左右を確認しない子供もいます」とのことです。ご家庭でも、お話をしていただきますようお願いいたします。



いじめアンケートを実施して

いじめアンケートを実施し、残念ながら、本校では、数件いじめとして認知し、教育委員会に報告したところです。また、そのアンケートの中で「いじめは何かあっても許されない行為である」という設問に対してわずかながら「そうではない」と回答する児童がいます。これは「やられたらやり返してもよい」という考えであり、誤った考え方です。起こってしまったときは、本人やまわりの子供が、大人に相談したり、助けを求めたりすることが大切です。また、日頃より未然防止の取組を続けて参ります。いじめが起こってしまった場合、加害者には、私達も厳しく指導をして、子供たちが安心して過ごせるようにしていきたいと考えています。

夏休み前に、児童会の役員により、なかよし集会(7/21)を実施します。代表者が参加する、いじめサミット(7/3)で話題になったことを参加した児童が発表したり、劇をとおして、いじめが許されない行為であることの理解を深めたりします。役員だけではなく、すべての児童が標語を考え、校内に掲示します。子供と教職員が一つになって、いじめの起こりにくい学校を目指します。



日	曜日	行事など
3	月	いじめサミット
4・5	火・水	宿泊研修(5年)
6	木	回復休業(5年)
7	金	ウトナイ湖見学学習(3年) PTA 校外委員会
10-12	月-水	なわとびイベント「1分チャレンジ!!」
12	水	参観日(1・2年)5校時
13	木	参観日(5・6年)5校時
14	金	参観日(3・4年)5校時
18	火	防犯教室(1・2年)
20	木	プール学習 児童会
21	金	なかよし集会
24	月	大掃除
25	火	終業式
26	水	夏季休業(~8/21) サポート学習
27	木	サポート学習
28	金	小6講座